



和歌山県紀の川市

～グループ一丸で資源循環農法を展開～ 地域（農業）活性化への貢献を目指す！

かぶしがいいしゃ

株式会社ヨシムラファーム

WEB サイト：<http://yoshimurafarm.com/>

参入法人の概要

法人形態：農地所有適格法人
代表者名：代表取締役 吉村 英樹
所在地：和歌山県紀の川市桃山町
調月 2826
設立年次：平成 22 年 5 月
資本金：300 万円
親会社：(株) ヴァイオス



営農形態：露地栽培
主要作物：にんにく、もも
経営面積：3.9ha（うち所有 1.7ha、借入 2.2ha）
主な販売先：仲卸業者・売買参加者（→量販店）、
産直小売業者
売上額：4.1 千万円（農業売上高）
常時雇用：7 名

●農業に参入した目的を教えてください

親会社の（株）ヴァイオスは和歌山県北部を中心に一般家庭及び大型商業施設の浄化槽点検や、紀の川市に有機汚泥リサイクルセンターを建設し、資源循環システムを構築する等により、水処理のエキスパートとして躍進している企業です。

平成 15 年に廃棄物の海洋投棄が全面禁止になった（ロンドン条約）機会を捉え、廃棄物のリサイクルビジネスに参入（汚泥の堆肥化ビジネスモデルとして環境省認定を受ける）。当初、農家への肥料販売を行っていましたが循環型農業を自ら始めることとし、平成 22 年に（株）ヨシムラファームを設立しました。

●当該土地を選んだ理由を教えてください

（株）ヴァイオスのリサイクルセンターが所在する紀の川市は、紀の川の豊かな恵みを受け、古くから農業が盛んに行われてきた土地であり、近年では全国有数のフルーツの産地としても有名な緑と水が豊富な地域です。このような紀の川市において、資源循環型農業を実践することで、地域（農業）の活性化に繋がりたいと考えました。

●当該作物を選んだ理由を教えてください

（株）ヴァイオスが製造する肥料（バイオコンポ）は土づくりのための肥料であり、栄養分を高めるだけでなく、透水性及び保湿性などの効果を発揮することから土壌が活性化するので、肥沃な土壌が必要となるニンニクの栽培にとって最も相性が良いと判断し、にんにくを選定しました。

●参入にあたっての栽培技術や販路の確保で課題はありましたか

（栽培技術面での課題への対応）

ニンニクの栽培に関しては、農機具メーカーから情報提供された青森県などの産地情報や、ネット情報などの知識も参考にしながら栽培技術の課題に対応しており、排水対策や雑草対策については、地元生産者との連携や視察で得た知識により対策を講じています。

各圃場の整備やバイオコンポ散布による土壌改善、にんにくの植え付けや堀り上げにおいて、トラクター以外に重機類を活用することで作業時間の短縮をすることができ、耕作面積を拡大することで生産性向上を図ることができました。

また、販売フェア（フードストアソリューションズフェア）への参加が、他府県の生産者との交流を持つ機会となり、現在も情報交換しながら栽培技術面のアドバイス等を受けています。

（販路開拓の取組）

販路については親会社（株）ヴァイオスで有する人脈の活用により紹介された、量販店バイヤー等と直接交渉することで販路を開拓しております。

今後の生産量増加に伴う販売エリアの拡大を視野に入れ、商品提供方法の改善やアイテム数の拡充などの販売強化を図るとともに、販売フェアへの出展等を通じて新たな取引先の確保にも繋げております。

●地域との関係などで気を付けていることがあれば教えてください

資源循環型農業を実践し推進することで、地元生産者等との信頼関係を築き、遊休農地の活用や耕作放棄地の解消を地域農業者や農業委員会、地元自治会の協力体制のもとで加速化していける関係となることに気を付けています。

●今後の経営方針について教えてください

親会社との連携（バイオコンポの活用）により、ニンニク栽培にとって最適化した圃場整備（土づくり）を行いながら耕作面積を拡大し、安全で安定した農業基盤の形成を行うことで生産性を向上させます。

その結果、今後、農業ビジネスにより利益が生み出された場合、設備投資による事業拡大による更なる生産性向上を図るとともに、従業員給与への還元及び地域（農業）への還元（納税、雇用、地域のニンニク栽培に係るノウハウ提供等の貢献）をできるよう目指しています。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

当社では親会社と連携した資源リサイクルの循環型農業の実践（親会社で生産した汚泥堆肥を畑に還元）で持続可能な農業を目指していますが、地元の理解を得ることを第一に考えながら規模拡大してきた取組みが徐々に認められ、今後、地域の方々に農業を通じての貢献ができると、私たち（株）ヨシムラファームは確信しています。

新たに農業参入される企業の方々は、長期的な視野に立って農業技術と知識を習得し、農地確保の際は自社の栽培に適した条件の農地を確保した上で、綿密な生産管理や生産計画の作成及び計画改善を繰り返しながら効率的な運営を可能とすることで、自立した農業法人としての存在意義を発揮できるようになってください。



収穫されたニンニク



ニンニクの乾燥及び貯蔵（冷蔵）施設